

平成21年度
筑紫野市教育委員会
点検・評価報告書

平成23年3月
筑紫野市教育委員会

目 次

I. はじめに	2
II. 教育委員会の活動状況等	2
(1) 教育委員会の構成	2
(2) 教育委員会会議付議事項	2
(3) その他の活動状況	5
III. 事務事業の点検・評価	6
<生涯にわたって、いつでも、どこでも、だれでも学べる教育環境の整備>	
1. 学校教育の充実	7
2. 青少年の健全育成	11
3. 生涯学習・社会教育の推進	16
4. スポーツ・レクリエーションの推進	26
<認めあい、共に生きる人権尊重社会の醸成>	
5. 人権意識の向上	28

I. はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、作成したものです。

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

II. 教育委員会の活動状況等

(1) 教育委員会の構成

(平成23年1月1日現在)

委員の区別	氏名	年齢	委員としての任期	
			任命年月日	満了年月日
委員長	近本 明	76	H20. 10. 04	H24. 10. 03
委員（委員長職務代理者）	徳永 茂樹	56	H19. 03. 07	H23. 03. 06
委員	潮見 眞千子	58	H21. 12. 21	H25. 12. 20
委員	高山 百合子	52	H20. 06. 23	H24. 06. 22
教育長	寺崎 和憲	57	H21. 01. 01	H24. 12. 31

(2) 教育委員会会議付議事項

開催番号	開催日	付議事項
平成21年 第4回	4月24日	○筑紫野市体育指導員の解職について ○教育長の報告について ○各課の報告について
第5回	5月21日	○筑紫野市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について ○筑紫野市立山家幼稚園の保育料等の減免に関する規則の一部を改正する規則の制定について ○筑紫野市私立幼稚園就園奨励費の給付に関する規則の一部を改正する規則の制定について ○筑紫野市民図書館運営規則の一部を改正する規則の制定について ○筑紫野市社会教育委員及び筑紫野市生涯学習センター協議会委員の委嘱について ○筑紫野市コミュニティ施設（山家）運営協議会委員の委嘱について

		○筑紫野市コミュニティ施設（山口）運営協議会委員の委嘱について
		○筑紫野市コミュニティ施設（御笠）運営協議会委員の委嘱について ○筑紫野市コミュニティ施設（二日市）運営協議会委員の委嘱について ○筑紫野市コミュニティ施設（筑紫南）運営協議会委員の委嘱について ○筑紫野市コミュニティ施設（筑紫多目的集会施設）運営協議会委員の委嘱について ○筑紫野市文化振興計画策定審議会設置条例を廃止する条例の制定について ○筑紫野市歴史博物館協議会委員の委嘱について ○奨学生の推薦について ○教育長の報告について ○各課の報告について
第6回	6月26日	○筑紫野市立図書館協議会委員の委嘱について ○教育長の報告について ○各課の報告について
第7回	7月24日	○平成21年度筑紫野市一般会計補正予算（第1号）（教育費）について ○平成21年度筑紫野市一般会計補正予算（第3号）（教育費）について ○平成21年度筑紫野市一般会計補正予算（教育費）について ○工事請負契約の締結について ○福岡都市圏の市町のスポーツ施設等を相互に他の市町の住民の利用に供することの一部変更に関する協議について ○筑紫野市体育指導員の選任について ○教育長の報告について ○各課の報告について
第8回	7月31日	○平成22年度使用中学校用教科用図書採択について
第9回	9月30日	○筑紫野市教育委員会 委員長の選挙の件について ○委員長職務代理者の指定の件について
第10回	10月23日	○平成20年度筑紫野市一般会計歳入歳出決算（教育費）について ○平成20年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計歳入歳出決算について ○福岡都市圏の市町の図書館等を相互に他の市町の住民の貸出利用に供することに関する規約の一部変更に関する協議について ○財産（物品）の取得について ○財産（物品）の取得について

		<ul style="list-style-type: none"> ○財産（物品）の取得について ○平成21年度筑紫野市一般会計補正予算（第4号）（教育費）について ○教育長の報告について ○各課の報告について
第11回	11月30日	<ul style="list-style-type: none"> ○筑紫野市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について ○筑紫野市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について ○平成21年度筑紫野市一般会計補正予算（第5号）〈教育費〉について ○平成21年度筑紫野市一般会計補正予算（第6号）〈教育費〉について ○教育長の報告について ○各課の報告について
第12回	12月21日	<ul style="list-style-type: none"> ○奨学生の選考について ○教育長の報告について ○各課の報告について
平成22年 第1回	1月22日	<ul style="list-style-type: none"> ○市長の権限に関する事務の補助執行について ○奨学生の選考について ○奨学生の選考について ○奨学生の選考について ○奨学生の選考について ○2学期制の実施について ○2学期制の実施について ○2学期制の実施について ○2学期制の実施について ○平成20年度筑紫野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価について ○教育長の報告について ○各課の報告について
第2回	2月22日	<ul style="list-style-type: none"> ○平成22年度筑紫野市教育行政の主要施策について ○筑紫野市教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例について ○筑紫野市文化振興条例の制定について ○筑紫野市管理運営規則の一部を改正する規則の設定について ○筑紫野市立山家幼稚園管理規則の一部を改正する規則の制定について ○筑紫野市立の小学校及び中学校の通学区域に関する規則の制定について ○筑紫野市適応指導教室運営規則の一部を改正する規則の制定について

		<p>○県道「65号線（筑紫野・筑穂線）」の拡幅事業に伴う吉木小学校用地の処分について</p> <p>○教育長の報告について</p> <p>○各課の報告について</p>
第3回	3月26日	<p>○平成21年度筑紫野市一般会計補正予算（第7号）〈教育費〉について</p> <p>○平成21年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計補正予算（第1号）について</p> <p>○平成22年度筑紫野市一般会計予算〈教育費〉について</p> <p>○平成22年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計予算について</p> <p>○筑紫野市教育委員会事務局組織及び職務執行規則の一部を改正する規則の制定について</p> <p>○筑紫野市文化振興条例施行規則の制定について</p> <p>○筑紫野市歴史博物館管理運営規則の一部を改正する規則の制定について</p> <p>○平成22年度筑紫野市立小中学校の給食について</p> <p>○教育長の報告について</p> <p>○各課の報告について</p>

以上の付議事項は全て可決・承認されました。

（3）その他の活動状況

- ① 学校訪問・・・市内全小中学校を訪問
- ② 各種行事等・・・入学（園）式、卒業式、運動会、体育会、教職員赴任式等に出席
- ③ 研修等・・・九州地区教育委員研修会等に参加
- ④ その他・・・定期的学校訪問

Ⅲ. 事務事業の点検・評価

本市では、継続的に行っている事務事業について、内容の点検を行う事務事業評価制度を導入し、事務の効率化を図っています。また、毎年度、教育施策要覧を作成し教育行政の推進に取り組んでいるところです。

(1) 教育費の決算状況

教育費関係決算額33億2,587万3,377円で、一般会計に占める教育費の割合は11.3%となっております。これは、昨年度の10.2%に対し0.9ポイントの増で、その要因として二日市小学校、二日市東小学校の耐震化工事及び筑紫小学校の増築工事等などがあげられます。

(2) 事務事業評価

- A 成果があがっている
- B どちらかといえばあがっている
- C あがっていない

生涯にわたって、いつでも、どこでも、だれでも学べる教育環境の整備

1. 学校教育の充実

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
教育環境の整備	特別支援教育推進事業	●市内小中学校に在籍する、障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服する。	B
		◇特別支援学級設置16校中14校に介助員を配置した。(複数配置校があるため、18人配置)	
教育環境の整備	児童生徒等通学支援事業	●児童の通学上の危険を除去することで、安全策を講じることができ、教育環境を良好に保ち児童の通学における安全を確保したい。	B
		◇天山児童数 27人 稼動日数 199日 走行距離 5,784Km 購入年月日 平成19年7月 ※J Aより5年経過の福祉マイクロバスを払い下げ購入する。	
教育環境の整備	小学校教材・図書整備事業	●学校図書館の図書及び教師用図書の整備により充実した学校教育が受けられる。	C
		◇学校教育の振興のため、教材の整備充実、学校図書館の図書及び教師用図書の整備充実を学校の実態にあった整備を行なった。	
教育環境の整備	小学校備品整備事業	●小学校における備品の充実を図ることにより教育環境の向上につながる。	C
		◇各学校の特色に応じたコンピュータソフトを購入、授業等への活用を推進した。	
教育環境の整備	中学校教材・図書整備事業	●学校図書館の図書及び教師用図書の整備により充実した学校教育が受けられる。	C
		◇学校教育の振興のため、教材の整備充実、学校図書館の図書及び教師用図書の整備充実を行なった。	
教育環境の整備	中学校備品整備事業	●中学校における備品の充実を図ることにより教育環境の向上につながる。	C
		◇各学校の特色に応じたコンピュータソフトを購入、授業等への活用を推進した。	
教育環境の整備	私立幼稚園育成助成金	●公立幼稚園が1園しかなく、それを補完する私立幼稚園の振興	B
		◇市内私立幼稚園6園に助成均等割及び園児数割(5月1日現在)	
教育環境の整備	筑紫小学校増築事業	●教室を増築することで不足教室を解消する。	A
		◇企画、基本・実設計を行なう。	

		埋蔵文化財の試掘の結果、H21年度に工事完了を行う。	
教育環境の整備	二日市小学校耐震化事業	●安全で安心して教育が受けられ、教育が出来る教育環境 校舎（運動場側）の耐震補強工事終了、平成23年度に屋内運動場・校舎（九電側）の改築工事に向けての基本設計に取り掛かっている。	A
教育環境の整備	二日市東小学校耐震化事業	●安全で安心して教育が受けられ、教育が出来る教育環境 実施設計、一般競争入札、屋内運動場等の解体、3月の卒業式を迎えられ様建築工事完了	A
教育環境の整備	二日市中学校耐震化事業	●安全で安心して教育が受けられ、教育が出来る教育環境 基本設計・実施設計と進めており今、積算金額を算定	A
教職員の資質の向上	情報教育推進事業	●情報教育の活性化及び各教科においてコンピュータを有効に利用するために、コンピュータ機器を万全な状態にしておくことで、問題なく授業を行う。 ◇平成21年度の国の補正予算により、学校ICT環境整備事業により、小学校7校、中学校5校のコンピュータ教室の機器の更新事業を実施した。また、教員用パソコン300台の整備も併せて行うことができた。	A
教職員の資質の向上	小中学校教育研究指定校補助金	●児童生徒への授業の力量を高める実践的研究を行い、指定校において公開授業等の研究成果を広く公開していく。 ◇研究指定校 1年目（山家小、原田小、天拝中） 2年目（二日市東小、筑紫小、二日市北小、筑山中） 3年目（天拝小、筑紫野中） ※研究発表会：天拝小（250名） 筑紫野中（158名）	A
確かな学力の育成	外国語教育推進事業	●日本語的英語ではなく、現地の英語や文化習慣に触れる時間を多くして、身近に触れさせている。 ◇ALT 4名（内訳：市単費 4名） 年間派遣時数：中学校1262時間 小学校772時間	B
確かな学力の育成	少人数指導推進事業	●学級や学校全体の人数を分割し、子ども一人ひとりに目が行き届くようきめ細かな指導を行い、学力の向上を図る。 ◇市費非常勤講師を3～4年生を対象に少人数指導を941時間実施。	B
豊かな心の育成	児童生徒等心の支援事業	●指導員3名を配置し、心理的や情緒的に登校できない児童生徒への適応指導、また児童生徒や保護者のカウンセリング等で学校復帰を支援し、不登校児童生徒の社会的自立を目指す。 ◇市内の中学校に心の教室相談員を配置し、不登校（697件）・学習・進路（427件）・友達（62件）・家族（47件）・健康（38件）・その他（236件）の相談実績があった。	B

豊かな心の育成	スクールカウンセラー事業	<p>●中学校を中心に不登校やいじめ等の生徒を臨床心理の専門的な知識と経験を有する者によりカウンセラーで諸問題を解決していき、また保護者への助言援助をしている。</p>	B
		<p>◇基本的には、県(国庫補助事業)中学校5校に5名のカウンセラーを週1回8時間配置。35週間。 市単独カウンセラー1名雇用。 ※相談件数 5校合計：809件</p>	
豊かな心の育成	心の教室相談事業	<p>●中学校に「心の相談員」を5名配置し学校における生徒の悩み等の相談を行い、ストレスを和らげて心にゆとりがもてることを目的としている。</p>	B
		<p>◇市内の中学校に心の教室相談員を配置し、不登校(697件)・学習・進路(427件)・友達(62件)・家族(47件)・健康(38件)・その他(236件)の相談実績があった。</p>	
豊かな心の育成	中学校文化・体育奨励援助費補助金	<p>●学校体育・スポーツ・文化活動を通じて、規範意識の向上や道徳性を身に付けることができる。</p>	B
		<p>(文化) 5校：449,600円 (体育) 筑前大会：772,130円 県大会：650,130円 九州大会：774,820円 全国大会：529,875円 新人戦：531,130円</p>	
豊かな心の育成	問題を抱える子ども等の自立支援事業	<p>●不登校、暴力行為、いじめ、児童虐待、高校中退への対応といった、学校が抱える課題について未然防止、早期発見・早期対応につなげる。</p>	B
		<p>◇平成21年度目標：暴力行為と授業抜け出しの未然防止】 ○活動内容 ・校内体制の確立と職員での共通理解 ・指導員等関係者との共通理解 ・事務局による活動内容の分析・評価 ・関係機関との推進会議 ・性格、自己充実感についての生徒指導 検査(年1回)</p>	
健やかな体の育成	学校保健管理事業	<p>●健康診断を行うことで、児童・生徒及び職員の健康の保持増進を図る。</p>	B
		<p>◇学校保健安全法による事業 一般健康診断(150名) 胃検診(139名) 尿検査(1次：9074名、2次385名) ぎょう虫検査(6162名) 心臓(1次：1954名、2次：87名) 結核(1次：406名、2次：7名) 学校検診(8978名) 就学前検診(952名)</p>	

健やかな体の育成	共同調理場給食運営事業	●学校給食は、児童生徒に栄養のバランスがとれた食事を提供することにより、すべての児童生徒の健康増進と体位の向上を図っている。	B
		◇ 市内の小中学校の児童生徒及び教師等に年間187日(約9、500食/日)の給食を共同調理場方式で実施した。	
健やかな体の育成	給食会助成金	●市学校給食会に助成金を交付することで、給食会の運営が円滑に行われる。	B
		◇21年度は、専門委員会として調理員衛生研修会や市料理コンクール、県料理コンクール開催や研究大会への参加。食育推進に関する事業として、親子料理教室。指導委員会としては、役員会開催。研修会への参加。献立委員会の開催。	
就園、就学の支援	専修学校等技能習得資金貸与事業	●就労に必要な技能及び知識の習得を図り、社会において有為な人材の育成を図る。	C
		◇貸付者1名	
就園、就学の支援	学校就学援助・奨励事業	●経済的な理由によって就学困難な児童生徒への義務教育の就学を円滑に行う。	A
		◇援助児童生徒数実績 要保護 : 112人 準要保護 : 1235人 合計 : 1347人 特別支援就学奨励実績 小学校 : 58人 中学校 : 24人 合計 : 82人	
就園、就学の支援	遠距離通学補助事業	●遠隔地にある学校への通学支援を行うことで幼児教育、義務教育を受ける環境を整えることができる。	B
		◇遠距離通学対象者児童生徒数 22人	
就園、就学の支援	幼稚園就園奨励等事業	●公立・私立幼稚園に在園している3・4・5歳児に幼稚園教育の振興を図るため、幼稚園保育料等の補助を行う。	B
		◇公立 4人(減免) 私立 1108人	
就園、就学の支援	奨学資金貸付事業	●経済的理由によって進学又は修学が困難な生徒に対し学資を貸与し、有用な人材の育成を図る。	B
		◇新規貸与者として、高校3名・大学1名を採用した。 高校9名、大学5名に対し継続して貸与を行った	
施策の総合推進	学校教育研究会補助金	●教育研究会等にそれぞれの教職員が参加することで、当該専門的知識の習得や幅広い知識の習得を目指し、学校運営の円滑を推進している。	B
		◇講演、実践発表を実施。 ・講演7回 ・実践発表2回 ・研修会1回	

2. 青少年の健全育成

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	

学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	地域子ども会活動費補助金	<p>●単位子ども会の活性化を図る。 子ども達の体験活動を充実させるとともに、親の教育力を高め学習機会を充実させる。</p>	A
		<p>◇単位子ども会支援策として補助金総額2,675千円を交付した。交付単位子ども会数 63団体</p>	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	子どもセンター事業	<p>●子ども向けの情報誌を作成し配布することにより子どもたちの体験活動の推進を図る。</p>	A
		<p>◇子ども情報誌「キッズ・ウインドー」の発行キッズ・ウインドー」29、30、31、32号 発行 7月、9月、12月、3月 各10,000部発行 配布先： 市内各小・中学校 9,400部 市内公共施設、各郵便局、農協等 600部</p>	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	生涯学習フェスティバル青少年部会事業	<p>●青少年関係団体の活動状況等の紹介、ボランティアバンク登録者の指導による昔遊び体験などにより、より多くの青少年が青少年プラザを容易に利用できるようになる。</p>	B
		<p>◇ ・青少年関係団体の活動状況等の紹介 ・青少年プラザを利用した遊びの体験 ・青少年に関する情報のアピール ◇ ・期日：平成21年10月24日・25日 ・チャレラン大会実施 「お手玉投げ」「トトロ折り紙」 ・青少年事業の紹介展示コーナー</p>	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	ロックフェスティバル事業	<p>●生涯学習センター利用の青少年の組織化を図り、相互の連帯感を高め、利用マナーの向上を目指す。また、青少年の主体性・自主性を育成し、発表の場を提供することにより青少年の達成感を味あわせる。</p>	A
		<p>◇生涯学習センター利用の青少年の組織化を図り、相互の連帯感を高め、センター利用マナーの向上を目的にロックフェスティバルを実施・期日：平成21年8月23日（日） ・内容：バンド 11グループ ダンス 1グループ ：ポスター展示（ロビー） 市内高等学校からの作品を展示 ※ 参加グループによる自主的な企画会議、当日の運営が定着した。</p>	
学習機会、体験活動の充実及び情報の提供	竜岩自然の家主催講座事業	<p>●施設を取り巻く豊かな自然環境や学習資源を生かしながら、多彩な学習プログラムの提供を図り、利用者の自然体験活動等の体験者を増やす。</p>	A
		<p>◇市民の自然体験活動等の推進を図るための主催事業を実施した。・野外活動指導者養成学校</p>	

		<ul style="list-style-type: none"> ・フリークライミング教室 ・ファミリーキャンプ ・炭焼き体験教室 ・その他 	
青少年の居場所づくり	青少年育成事業（ＢＧレンジャー）補助金	<p>●様々な体験活動や行事等を通じて心豊かな青少年の育成とまちづくりの推進を図る。</p> <p>◇心豊かな青少年の育成とまちづくりを推進するための事業支援策として、４事業に補助金総額４００千円、（継続）２８０千円、総額６８０千円を交付した。</p> <p>◇ ・継続分： ４件 ２８０千円 ・新規分： ４件 ４００千円</p>	A
青少年の居場所づくり	子どもフェスティバル事業補助金	<p>●子どもたちが、友達と協力しあって地域でいきいきと遊ぶことができている。</p> <p>◇子どもフェスティバルちくしの&第１９回子ども市を実行委員会形式で実施</p>	A
青少年の居場所づくり	青少年プラザ事業	<p>●青少年プラザを青少年の交流の場として開放し、青少年関係団体の活動の紹介や発表の場として、また、情報提供や体験学習の場として提供することにより、青少年がいつでも気軽に集まることができる。</p> <p>◇青少年の交流の場、青少年関係団体の活動の紹介や発表の場、また、情報提供や体験学習の場として提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによるぼらばんぷらざ（毎週水・土曜日実施） ・情報コーナー ・作品展示 ・子ども向けのビデオ放映(毎週水曜日) ・様々な企画の実施 	B
青少年の居場所づくり	夏休み学校外活動事業	<p>●地域の方との交流を通じて子どもたちに「世代間交流」や「同世代と一緒に、外で体を動かして遊ぶ楽しさ」を体験させることにより、子どもたちが地域の中での遊びを通じて生きる力を身につけ、また、地域全体で子どもを見守っていく環境を育てる。</p> <p>「ステキな夏休み教室」を東新町、石崎公民館で実施（二日市東小学校区対象）。来年度は、俗明院地区で実施予定。・開催場所：東新町公民館</p> <p>期日：８月１日、２日 参加者：１４名 ボランティアスタッフ：遊び５名、料理１１名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：石崎公民館 <p>期日：８月１８日、１９日、２５日、２６日 参加者：２１名</p>	A

		ボランティアスタッフ：遊び2名、料理6名	
青少年の居場所づくり	放課後子ども教室事業	<p>●放課後や週末に小学校の余裕教室等を使用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組みを実施することにより、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)づくりを図る。</p> <p>◇平成19年度から開始する事業である。・2ヶ所継続 週二日市アンビシャス広場(二日市小区)</p> <p>◇天拝っ子アンビシャス広場(天拝小学校区) ・1ヶ所新規 若葉・中原アンビシャス広場(二日市東小 校区) いずれも2回で実施中</p>	A
青少年指導者の確保、育成	筑紫野市子ども会育成会連絡協議会補助金	<p>●市内の子ども会の育成活動の推進と育成及び指導者の資質の向上に努め、もって子ども会の健全育成に資することを目的に設立された筑紫野市子ども会育成会連絡協議会を支援する。</p> <p>◇筑紫地区子ども会等少年団体指導者研修会の実施 ・役員会役員会 期日：平成21年5月22日 会場：白木原いしばし 内容：平成20年度事業、決算及び監査報告 平成21年度事業計画、予算(案)等</p> <p>研修会 期日：平成21年9月13日 会場：ふれあい文化センター 内容：実技と講演</p>	A
青少年指導者の確保、育成	筑紫野市ジュニア・リーダーズ・クラブ連絡協議会補助金	<p>●ジュニア・リーダーの育成に取り組む団体を財政的に支援する。</p> <p>◇レクリエーション講習会 ・芸術・文化部門 マーチングバンド・クラブ ・体育・スポーツ部門 ソフトテニス</p>	B
青少年指導者の確保、育成	筑紫野市青年団体連絡協議会補助金	<p>●青少年育成市民会議を通して、青少年の健全育成に資する団体とする。併せて、社会貢献活動を実施する団体とする。</p> <p>◇団体支援策として補助金30千円を交付した。 ・各団体の情報交換を通じて青年層の連携を図った。 ・生涯学習フェスティバルにおいて青少年プラザで陶芸教室を昨年に引続き開催し団体の活動をアピールした。</p>	C
青少年指導者の確保、育成	筑紫野市青少年育成市民会議補助金	<p>●青少年の健全育成に係る団体、機関の中心的役割を果たす活動を支援する。</p> <p>◇団体支援策として補助金200千円を交付した。 ・市民フォーラム：テーマ「いじめをなくすにはどうすればよいか」 5中学校、4高校の代表によるパネルディスカッション ・青少年の健全育成に係る情報交換</p>	A

青少年指導者の確保、育成	子ども会リーダースクール	<p>●子ども会の主体者としての自覚を促し、積極的に子ども会を担っていくリーダーの育成を図り、子ども会が円滑に運営される。</p>	A
		<p>◇新リーダースクール（2月） 参加者346人（一般参加215人 育成会94人 スタッフ37人） ・春スクール（ニュージェネレーションスクール）（6月） 参加者124人（一般参加86人 講師等4人 スタッフ他34人） ・秋スクール（子ども会あそび広場）（10月） 参加者80人（一般参加31人 リーダー24人 スタッフ25人）</p>	
青少年指導者の確保、育成	子ども会育成会指導者研修会事業	<p>●子ども会活動を支援する育成会の役割とその支援のあり方を学ぶことにより子ども会育成会が円滑に運営される。</p>	A
		<p>◇各種研修会の実施、参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市主催指導者研修会 ・福岡ブロック子ども会育成会指導者研修会 ・九州地区子ども会育成研究会議 ・筑紫地区少年団体等指導者研修会 	
青少年指導者の確保、育成	青少年指導員事業	<p>●青少年の非行を防止し、健全な保護、育成を図るため筑紫野市青少年指導員を置く。</p>	A
		<p>◇ 青少年の非行を防止し、健全な保護、育成を図るための活動を行った。</p> <p>6歳～19歳＝14,561人 補導人数 1,351人小学校区別巡回・筑紫地区一斉補導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員会における情報交換 ・校区別主催事業：筑紫小フットベースボール大会 <p>◇ 山家小一泊研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会：教育講演 「現代青少年の悩みや問題行動に対する対応の実際」 ・視察・研修 立花高校との交流 	
青少年指導者の確保、育成	YOU遊（ダッシュ）事業	<p>●体験活動を通じ、ボランティアに関する意欲を喚起すると共に、地域情報の提供により社会参加のきっかけにより、青少年のボランティア活動のリーダーとなる。</p>	C
		<p>◇参加者が少なく活動できていない。</p>	
環境浄化活動の推進	筑紫野市青少年指導員会補助金	<p>●青少年指導員の自主的活動を支援する。</p>	A
		<p>◇団体支援策として補助金90千円を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校区別巡回・筑紫地区一斉補導 ・役員会における情報交換 ・校区別主催事業： 筑紫小フットベースボール大会、山家小一泊研修 ・研修会：教育講演 「現代青少年の悩みや問題行動に対する対応の実際」 ・視察・研修：立花高校との交流 	

		・校区别情報交換会	
環境浄化活動の推進	少年補導員会事業	●他市町の補導員会と連携協力し、必要な研修会を実施することにより、少年の非行を防止する。	A
		◇青少年の健全育成、非行防止のための事業を実施 ・毎月開催の定例会において情報交換 ・校区内危険箇所の巡回 ・視察・研修：長崎市少年センター	
悩み相談、思春期教育の充実	ヤングテレホン相談事業	●青少年自身や保護者の悩み相談を電話で応じ、その内容に応じたカウンセリングを行うことにより、青少年の非行防止と健全育成を図ることを目的とする。	A
		◇青少年自身や保護者の悩み相談を電話で応じ、その内容に応じたカウンセリングを行った。 ・PRチラシ配布（5月） 市立幼稚園・保育所 498枚 ・PRカード配布（6月） 小中学生 8,979枚 ・PRチラシ配布（10月） 小学校新入学予定者 1011枚 ・PRチラシ配布（11月） 小中学生 8,979枚	
施策の総合推進	成人式事業	●成人としての自覚を促すことにより、新成人が主体的に社会参加できるようにする。	A
		◇「成人としての自覚を促し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます」ことを目的に式典を実施（実行委員会により） ・期日：平成21年1月11日 実施 ・会場：筑紫野市文化会館 ・参加者：860人（出席率 71%） ・記念品：カフェタンブラー、タオル ・対象者：1207人 (H21 11/24 現在) ・内容：記念式典, 和太鼓演奏	
施策の総合推進	おやじ講座推進事業	●青少年の健全育成が社会的に求められている今日、父親の子育てへのかかわりが課題となっている。そのため、父親及び子育てに関わる男性の学習機会等を提供する。	A
		◇2件申請 2件交付	

3. 生涯学習・社会教育の推進

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
学習ニーズに応じた学習機	小地区公民館講座推進事業	●小地区公民館における主催講座の開催を促し、学習支援の推進を図ることにより、市民ニーズに応じた学習機会が提供され	B

会の充実		<p>る。</p> <p>◇小地区公民館では、教育・実用・趣味等多岐にわたり、いろんな学習が行われている。地域の活性化、まちづくりにつながる学習効果は高いと思われる。</p> <p>平成21年度新規講座開設数</p> <p>教育：10講座 教養：12講座 健康：3講座 実用：1講座 文化：5講座 防災：1講座 合計：32講座</p>	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	学びをつなぐ講座	<p>●人権尊重の明るいまちづくりのため、学習を通し人権問題の啓発を図ることにより、人権意識を持った市民を増やす。</p> <p>◇開講式講座「『学び』の意味・意義」 5月21日 館外学習クリーンヒル宝満、福岡県人権啓発情報センター 6月18日 講座「人権感覚のアンテナ」 7月16日 「両性の回復を目指して」 9月16日 「隣保館の活動と取組みに学ぶ」 10月15日 閉講式講座「子どもたちの人権感覚の向上を目指して」 11月19日 参加者：延82人</p>	B
学習ニーズに応じた学習機会の充実	ちくしの高年大学	<p>●高齢者が豊かな経験を生かして社会参加を実践するための学習ができるとともに、受講生相互の親睦が深まっている。</p> <p>講生数123名</p> <p>1. 教養講座 ①生き方2回 ②福祉1回 ③伝統文化1回 ④生活2回 ⑤文化1回 ⑥開講式1回・閉講式1回</p> <p>2. 専門講座14回 ①郷土史 ②太極拳 ③合唱 ④絵画 ⑤紙版画 ⑥ケアビクス</p> <p>3. クラブ活動8回 社会参加のための技術実習</p> <p>4. 世代間交流事業 夏休み期間中の小学生を対象とした「夏休み工作教室」</p> <p>5. 学習成果発表・作品展・学習実践発表 生涯学習フェスティバルでの学習発表及び子どもたちの体験学習支援活動</p> <p>6. 社会参加活動 研究課題としてゼミ講座「チェンジイせんばあ倶楽部」による歴史散策活動</p>	B
学習ニーズに応じた学習機会の充実	ビデオ編集機器等操作技術講習会	<p>●市民が視聴覚機器の操作技術を学ぶことができ、視聴覚室の機材が使えるようになる。</p> <p>◇定員は少ないが講習会の成果は上がっている。</p>	B

学習ニーズに応じた学習機会の充実	視聴覚教育・視聴覚ライブラリー事業	<p>●生涯学習センターの視聴覚機材・教材を活用してもらうことにより、市民のニーズに応じた学習ができるようにする。</p>	B
		<p>◇教材一覧を各機関等へ知らせることにより貸し出しが拡大、HPにVT教材等の一覧を掲載し、教材の検索ができるようにした。</p> <p>・スライド映写 6回 ・野外放送機器 26回 ・スクリーン 16回 ・パネル 17回 ・ビデオプロジェクター館外貸出し 21回 ・ビデオテープ館内、館外貸出し本数 1,267本</p>	
		<p>8月24～25日に、生涯学習センターのレイアウト変更作業を行い、3階のビデオコーナーを1階の学習情報コーナーに移動した。</p>	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	いきいき人権ライフセミナー	<p>●身近にある差別や人権問題をテーマとした学習の機会を提供し、人権問題の啓発を図ることにより、人権意識を持った市民を増やす。</p>	B
		<p>平成21年度学習内容（4回）</p> <p>①7月14日 知っていますか？ケータイで子どもに起きること（私たちが気付いていない携帯電話の影響とは??）</p> <p>②7月28日 親子の対話で取り組むケータイの対応（携帯電話問題に対する対応を実践的に学びます。）</p> <p>③8月11日 ケータイを持たない勇気！持たせない愛！（“子ども脱ケータイ宣言” 芦屋町の事例から）</p> <p>④8月26日 考えよう！子どもとケータイ（前3回の講義を踏まえながらみんなで考えます。）</p>	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	まちをみつめよう学級	<p>●身近な生活課題を学習し「まちの政治」を正しく理解し、明るい選挙の推進を図るとともに、地域のリーダーを育成する。</p>	B
		<p>◇ 学級生のそれぞれが問題意識を持ちながら学習に臨んでいた。</p> <p>選挙管理委員会事務局との共催事業受講生：25人</p> <p>①開級式 参加：25人 閉級式 参加：19人</p> <p>②講義等</p> <p>・「市民協働のまちづくり」参加：24人</p> <p>・「生きる基本、『食』『暮らし』を支える」（出前講座） 参加：21人</p> <p>・「男女共同参画でまちづくり」参加：22人</p> <p>・「自主学习」（発表） 参加：20人</p>	

		<ul style="list-style-type: none"> ・「市長との懇談会」 参加：20人 ・「市議会傍聴」 参加：17人 ・「選挙制度について」 参加：20人 <p>②館外学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校給食共同調理場及び市内史跡見学」参加：22人 ・「筑紫地区政治学級社会見学」参加：10人 ・「市外施設見学」 参加：16人 <p>③筑紫地区リーダー研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「選挙啓発活動について」参加：21人 																																													
学習ニーズに応じた学習機 会の充実	コミュニティ主 催事業	<p>●地域の豊かな学習資源を生かした学習機会の提供をはかり、学習の成果を活かして、地域やコミュニティ施設における生涯学習活動や地域活動に参画する。</p> <p>◇コミュニティ施設において主催講座を開催し、市民の学習機会を提供した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">施設名</th> <th style="text-align: left;">講座数</th> <th style="text-align: left;">参加者数</th> <th style="text-align: left;">延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二日市コミセン</td> <td>7講座</td> <td>194人</td> <td>1,338人</td> </tr> <tr> <td>山口コミセン</td> <td>5講座</td> <td>83人</td> <td>314人</td> </tr> <tr> <td>御笠コミセン</td> <td>11講座</td> <td>173人</td> <td>1,252人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1事業</td> <td>130人</td> <td>130人</td> </tr> <tr> <td>山家コミセン</td> <td>10講座</td> <td>359人</td> <td>2,020人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1事業</td> <td>10人</td> <td>400人</td> </tr> <tr> <td>紫多目的集会</td> <td>6講座</td> <td>104人</td> <td>972人</td> </tr> <tr> <td>人筑紫南コミセン</td> <td>11講座</td> <td>253人</td> <td>1,399人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>50講座</td> <td>1,166人</td> <td>7,295人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2事業</td> <td>140人</td> <td>530人</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	講座数	参加者数	延人数	二日市コミセン	7講座	194人	1,338人	山口コミセン	5講座	83人	314人	御笠コミセン	11講座	173人	1,252人		1事業	130人	130人	山家コミセン	10講座	359人	2,020人		1事業	10人	400人	紫多目的集会	6講座	104人	972人	人筑紫南コミセン	11講座	253人	1,399人	合 計	50講座	1,166人	7,295人		2事業	140人	530人	B
施設名	講座数	参加者数	延人数																																												
二日市コミセン	7講座	194人	1,338人																																												
山口コミセン	5講座	83人	314人																																												
御笠コミセン	11講座	173人	1,252人																																												
	1事業	130人	130人																																												
山家コミセン	10講座	359人	2,020人																																												
	1事業	10人	400人																																												
紫多目的集会	6講座	104人	972人																																												
人筑紫南コミセン	11講座	253人	1,399人																																												
合 計	50講座	1,166人	7,295人																																												
	2事業	140人	530人																																												
学習ニーズに応じた学習機 会の充実	ちくしの文化講 座	<p>●市民の学習ニーズに応じた学習の機会が提供され、市民の学習活動が行われている。</p> <p>①趣味教養講座 548人(定員721人)延3,874人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期講座 : 25講座 ・1日体験講座 : 17講座 <p>(ジュニア講座・音楽講座・暮らし実用講座・手芸工芸講座・外国語講座・文学講座・歴史講座・一日体験講座) ①趣味教養講座 548人(定員721人)延3,874人</p> <p>②料理講座26講座 311人(定員548人)延719人</p> <p>③パソコン講座35講座 437人(定員700人)延1,900人</p>	B																																												
学習ニーズに応じた学習機 会の充実	ちくしの文化塾	<p>●時事問題、政治経済、教育等幅広く話題を提供し、市民の学習活動が行われている。</p> <p>◇ 人々の文化・教養の高揚を図ることを目的とする文化講演会</p> <p>①9/12(土) 中山千夏 テーマ『ちくしの古事記』来場者：161人</p>	B																																												

		<p>②10/3 (土) 川村妙慶 テーマ『私が私であってよかったと思える生き方』 来場者：184人</p> <p>③11/7 (土) 昇 幹夫 テーマ『60歳からの華やかな生き方』 来場者 190人</p>	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	生活学校連絡会 (補助金)	<p>●生活学校相互の連絡をはじめ生活学校運営の情報交換を行い消費生活の向上を図る。</p> <p>◇各生活学校の運営や活動を協議し消費生活の向上に取り組む運動を今後も継続していく。</p> <p>①筑婦生活学校の主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題の学習 ・廃油を利用したの石鹸作り ・天拝山ロードレースの支援 ・食の安全性についての学習 ・植樹活動への参加 <p>②みかさ生活学校の主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題の学習 ・廃油を利用したの石鹸作り ・天拝山ロードレースの支援 ・食の安全性についての学習 ・植樹活動への参加 	B
学習ニーズに応じた学習機会の充実	女性大学講座 (補助金)	<p>●趣味的なものから学術的なものまで多面にわたる講座を開催することにより女性の地位向上を図る。</p> <p>◇女性の地位向上を目指して、学習活動に取り組んだ。学習プログラム</p> <p>主な教室(01～29は21年度と同じ。)</p> <p>01毎週火曜日 ゴルフ・洋裁教室</p> <p>02毎週水曜日 洋裁・リフォーム教室</p> <p>03毎週金曜日 歌謡教室1・2</p> <p>04第1・2・3月曜 社交ダンス・ハワイアンダンス 実用書道1・2・卓球教室1・2</p> <p>05第1・2・3火曜 日舞教室</p> <p>06第1・2・3水曜日 民謡・三味線・カラオケ・太極拳・卓球教室</p> <p>07第1・2・3木曜日 太極拳・健康教室</p> <p>08第1・2・3金曜日 太極拳教室</p> <p>09第1・2・3土曜日 歌謡・詩吟教室</p> <p>※エアロビクス(22年度)</p> <p>10第2・4月曜日 パッチワーク教室</p> <p>11第1・3火曜日 生花教室</p> <p>12第2・4火曜日 コーラス</p> <p>13第2・4水曜日 トールペイント</p>	B
学習ニーズに応じた学習機会の充実	生涯学習センター自主学習グループ連絡会補助	<p>●自主学習グループの成果を持ち寄り、市民に公開・交流を行う。</p> <p>◇自主学習まつり(生涯学習フェスティバルに参画) 実行委員</p>	B

	事業	<p>会を結成し4回開催（反省会を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主学习グループまつり（生涯学習フェスティバルに参画） <p>実行委員会を結成し5回開催（反省会を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージ発表 35グループ・作品展示 15グループ ・バザー出展 4グループ・グループ紹介子配布 <p>24日470部 25日280部 計 750部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館外学習(97人)熊本城 5/29 ・館内学習(36人)男女共同参画研修 6/24 ・館内学習(31人)消費生活問題研修 2/18 ・総会1回 四役会10回 ・理事会11回 代表者会9回 ・相談日6回 	
学習ニーズに応じた学習機会の充実	筑紫南コミュニティセンター図書室運営	<p>●図書室の事業を活用し、学習活動や地域住民の交流により地域づくりが展開される。</p> <p>◇平成21年度活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室の開館日数 245日 ・図書室利用者数 14,243人 ・図書室主催講座 34回 ・折り紙教室 47回 ・すこやか広場（育児相談） 4回 	A
家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実	生涯学習ボランティア事業	<p>●市民がボランティアバンク事業を活用し、地域づくりや学習活動が展開されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの登録、派遣事業（学習相談・コーディネート） ・ボランティアバンク情報の提供、発信（HP・広報誌の発行など） ・ボランティア活動の支援 ・ぼらばんぷらざ（毎週水・土曜日午後） ・里山ウオ-キング（毎月第1土曜日） ・地域活性化事業「このゆびとまれ」 ・ボランティア研修会・学習会 年3回 <p>平成21年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア登録者 1,262人 <ul style="list-style-type: none"> 個人 870人 団体 32グループ（392人） ・ボランティア派遣件数 272件 ・ボランティア派遣人数 延4,359人 ・市民利用者数 延73,386人 	B
家庭・地域の教育力を高める教育活動の	生涯学習フェスティバル	<p>●学習グループが日頃の学習の成果を発表することができ、多くの市民の学習意識が向上する。</p> <p>◇☆印日時 平成21年10月24～25日</p>	B

<p>充実</p>		<p>☆参加人数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加団体(人数) 146団体 2,000人 ・観覧者数 2日延べ 8,000人 <p>①事務担当者会議 2回 ②パープルプラザ部会の企画会議 1回 ③事務局内協議 4回 ④実行委員会 1回 ⑤パープルプラザ部会 2回 ⑥各担当会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント広場担当 4回 ・広報、受付担当 3回 ・会場用具担当 3回 ・ステージ担当 3回 <p>⑦反省会 1回</p>	
<p>家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実</p>	<p>市民大学講座</p>	<p>●市民の学習機会とニーズに応え生涯学習の推進に努めることにより、家庭や地域の教育力が高まる。</p> <p>◇ 男女共同参画に向け、環境・人権・福祉教育などの問題をテーマとして世代、性別を超えた学習ができてきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月1日「政治の仕組」 ・7月6日「人権いろいろ話(連太郎日記より)」 ・8月10日「憲法この1年」 ・9月7日「楠木は残った」～太宰府天満宮千年の歴史を秘めて～ ・10月5日「先人の生き方(志)に学ぶ ～日本で赤十字精神を最初に実践した人・高松凌運～」 ・11月2日「昔話に見る人生の知恵」 ・12月7日「国際社会について」 ・3月1日「文学について」 	<p>B</p>
<p>家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実</p>	<p>家庭教育学級</p>	<p>●『子どもの人権を守り、健全な成長発達に責任を果たせる親となる』ことを目的とする。家庭教育学級間の情報交流を行い、合同企画事業を実施することにより、各家庭教育学級における活発な学習活動により家庭の教育力の向上を図る。</p> <p>◇・ 5月合同開講式 228人 講演：一人芝居 講師：福永宅司</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6月合同レクリエーション 194人 ・ 11月合同研修会 277人 <p>全体会講演：「知っていますか?チャイルドラインにかかる子どもの声 ～大人が今できること～」 講師：山口祐二 (筑紫女学園大学講師)</p> <p>3分科会 講師：鹿児島ひとみ, 斉藤真人, 緒方淳一</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学級での学習活動 6回～9回 ・文集「あゆみ」作成 	<p>B</p>

文化財・文化 芸術活動の充 実	ちくしの子ども 劇場補助金	<p>●地域の中で子どもたちがいきいきとした「子ども時代」を過ごすための環境づくりを目指す。また、子どもたちに芸術に親しむ心と感受性を育てるとともに、芸術文化活動への参加意欲を喚起する。</p> <p>◇ 人形劇まつりをはじめとするイベントに積極的に関わり、地域文化の発展に貢献している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものための優れた舞台芸術の鑑賞例会 ・地域の音楽家と子どもの出会い広場 ・子どもキャンプ ・自然まるかじり探検隊ネイキッズ等 	A
文化財・文化 芸術活動の充 実	文化団体連合会 補助事業	<p>●連合会への加盟団体が増加し、市民の芸術文化事業が盛んになること。連合会の事業が継続され、多様な事業がおこなわれること。安定した運営がおこなわれること。</p> <p>◇子どものための優れた舞台芸術の鑑賞例会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の音楽家と子どもの出会い広場 ・子どもキャンプ ・自然まるかじり探検隊ネイキッズ 等 	B
文化財・文化 芸術活動の充 実	史跡保存管理事 業	<p>●文化財の保存・管理を適正に行う。</p> <p>◇ 遺跡等の維持・管理・保存のための対策を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エヒメアヤメ指定地災害復旧工事 ・紫藤の滝災害復旧工事 <p>市内史跡地の草刈業務委託等を行い景観の維持に努めた。また、開発に伴う文化財の問い合わせに対応するためデータの更新を行った。</p>	B
文化財・文化 芸術活動の充 実	展示教育支援事 業	<p>●地域への理解を深め、市民の自治能力の向上を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市民に対し、学習意欲の喚起を促し、地域学習の推進を図る。 ②市の施策・事業や市民活動に対し、資料提供、助言を行なうと伴にこれを支援する。 ③学校教育に対し、資料提供、並びに教育支援を行なう。 <p>◇ 企画展/4事業</p> <p>市民展/ジュニア学芸員連動事業(年間)</p> <p>学芸員関係/3事業</p> <p>講座等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筑紫野織りの会(第1・3金曜日) ・回想法(随時) /福祉部門連携事業 ・市民文化ゼミナール(2/6・2/27・3/27) <p>支援事業/2事業単発事業/2事業</p> <p>共同事業/6事業学芸員派遣/12件</p> <p>資料貸出/623点資料閲覧/303点</p> <p>企画展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏目漱石と二日市温泉展(4/14～6/28) ・武蔵寺と二日市温泉展(7/14～9/27) 	A

		<ul style="list-style-type: none"> ・長崎街道筑前六宿宿展(10/12～12/6) ・むかしのくらし展(1/5～4/4) 	
文化財・文化芸術活動の充実	資料収集保管事業	<p>●資料を収集し、適切に保存・管理することにより、活用できる状態にする。</p> <p>◇ガス燻蒸を行なっているが、九州国立博物館と連携してIPM導入について探った。</p>	B
文化財・文化芸術活動の充実	ちくしの人形劇まつり実行委員会補助金	<p>●芸術作品の創作、人形劇の鑑賞を通して、ゆとりある心豊かな青少年・少女を育てる。</p> <p>◇20年度より会場を文化会館に移した。また、実行委員会内に広報担当と企画担当を設け、委員に企画・運営を担ってもらった。その結果、多数の観客に恵まれ大成功であった。</p>	A
文化財・文化芸術活動の充実	山家岩戸神楽保存会補助金	<p>●市指定無形民俗文化財「山家岩戸神楽」を伝承保存していくための保存会の活動が円滑に行われる。</p> <p>◇10月17日神楽奉納 11月 3日山家地区文化祭出演 6月～3月山家小学校「神楽クラブ」指導 11月15日山家小フェスタにて「神楽クラブ」発表</p>	B
文化財・文化芸術活動の充実	エヒメアヤマメ保存会補助金	<p>●市指定天然記念物「平等寺エヒメアヤマメ」の保護育成のため子ども会育成会活動が円滑に行われる。</p> <p>◇毎月に観察手入れ市民向け栽培講習会を開催</p>	B
文化財・文化芸術活動の充実	市指定文化財（長者の藤）管理補助金	<p>●観光資源でもある市指定天然記念物「長者の藤」の育成保護が行える。</p> <p>◇4月 消毒（アブラムシ、毛虫、セン虫等の駆除） 5月 花の房切り（枯れた花すべて）、廃棄処理、消毒（毛虫等駆除）。 2月 藤棚竹組替え（棚竹、竹を結ぶ縄の交換）、施肥、徒長づる・枯枝と苔等の除去と手入れ、結界棚等の交換、古竹廃棄処理、消毒（アブラムシ、毛虫、セン虫等の駆除） 3月 消毒（アブラムシ、毛虫、セン虫等の駆除）</p>	B
国際交流の推進	国際交流事業	<p>●国際感覚（市民一人ひとりが豊かな人権感覚を背景に、文化や価値観、さらに環境を共有し、お互いの違いを敬い理解と共生の意識を持つこと）を持った市民を増やすとともに、住みやすいと思う外国人を増やす。</p> <p>◇国際化行動計画に基づいて関係各課の進捗状況調査を実施した。状況としては財政再建計画による予算の確保や人的配置ができず、実施に至ってない課が殆どである。行動計画を実施しようとするれば予算とともに人員の配置などが必要であり、今の状況では実施は難しいと思われる。</p>	C
社会教育施設の充実	小地区公民館設置補助	<p>●小地区公民館が地域のまちづくりや生涯学習などの活動拠点施設となっている。</p>	B

		◇平成21年度実績 緊急工事 1件 用地購入 1件 新築 0件 補修工事 15件 計 17件	
社会教育施設の充実	アンビシャス多世代交流センター建設事業	●教育施設が整備され、生涯学習、社会教育活動が実践される。 ◇建設完了	A
社会教育施設の充実	図書館運営事業	●すべての市民、在勤、通学者、福岡都市圏住民が本に親しむ。 ◇平成21年度図書館運営事業指数 ・貸出総冊数 784,986冊・利用者総数 152,810人	B
社会教育施設の充実	図書・視聴覚資料購入事業	●文化と教養が高まる。 図書資料等購入により読者の要望が満たされる。 ◇平成21年度図書・視聴覚購入事業図書等購入 ・図書、視聴覚資料 19,168,009円 ・新聞、雑誌等 3,450,093円 書誌情報作成委託 ・書誌、視聴覚情報作成委託料 2,123,233円	B
生涯学習情報の共有化と充実	生涯学習情報提供事業	●生涯学習施設や学習に関する情報を得ることができる。 ◇年間240件程度の学習・イベントなどの照会、利用学習グループ150件の照会、ボランティアバンクの照会を行った。 掲示板掲示300件程度	B
施策の総合推進	筑紫地区社会教育振興協議会（公民館部会）	●筑紫地区における公民館事業等の現状や課題などの情報交換を行い、公民館活動が活性化している。 ◇社会教育公民館事業についての学習会研修会や4市1町での事業の情報交換 ・公民館担当者会議 5回 ・筑紫地区公民館事業担当者等研修会 6月 春日市 参加者：17人 ・筑紫地区社会教育振興協議会視察研修 11月 岡垣町 参加者：16人 ・福岡地区公民館研修会 2月 福津市 参加者：20人	B
施策の総合推進	小地区公民館連絡協議会補助事業	●市内の各小地区公民館活動を充実させることにより、市民が学習活動、地域活動やボランティア活動に積極的に参加できるようになる。 ◇平成21年度 ・総会・役員会・常任理事会・理事会 1回 3回 2回 5回 ・筑紫地区公民館事業担当者研修会（春日市） 6月13日 参加者：86人 ・福岡県公民館大会（柳川市）	B

		<p>8月5日 参加者：21人</p> <ul style="list-style-type: none"> 九州地区公民館研究大会（別府市） <p>8月27～28日 参加者：12人</p> <ul style="list-style-type: none"> 小公連推進大会 <p>9月5日 参加者：320人</p> <p>小地区公民館 館長・主事研修会</p> <p>10月19日 参加者：44人</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区別視察研修会 <p>山家地区 1月23日 参加者41人</p> <p>筑紫地区 1月24日 参加者44人</p> <p>山口地区 1月30日 参加者47人</p> <p>二日市地区 2月21日 参加者60人</p> <p>御笠地区 2月27日 参加者40人</p> <ul style="list-style-type: none"> 福岡地区公民館研修会（福津市） <p>2月20日 参加者：20人</p>	
施策の総合推進	小地区公民館主事設置補助事業	<p>●地域における社会教育活動の振興を図るため、公民館主事を設置することで、生涯学習活動・地域活動が活性化し公民館が地域の交流の場や地域活動の拠点になる。</p> <p>◇地域における社会教育活動の振興を図るため、小地区公民館主事の設置を促進することを目的する。</p> <p>対象小地区公民館数 85館</p> <p>二日市地区 816,000円</p> <p>筑紫地区 672,000円</p> <p>山口地区 432,000円</p> <p>山家地区 240,000円</p> <p>御笠地区 468,000円</p> <p>合計 2,628,000円</p>	B
施策の総合推進	市立学校PTA協議会補助金	<p>●各学校とPTAとの連携を深めることにより、児童・生徒の健全な育成と保護者・教職員の資質向及び教育の振興を図る。</p> <p>◇団体支援策として補助金432千円を交付した。（27千円×16校）</p> <p>協議会の活動内容</p> <p>広報研修会、委員合同研修会、市長・教育委員会・校長・会長合同懇談会、スポーツ研修会、人権問題研修会</p>	B
施策の総合推進	市婦人会補助金	<p>●女性の社会参加が促され、社会教育団体として活動を行い、地域に貢献している。</p> <p>◇女性の地位向上と社会参加をめざし、各機関団体と協力し、地域の福祉活動にも貢献した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性大学（婦人会主催）42学級 市民大学（委託事業）8講座 女性問題講座 6講座 <p>青少年支援事業</p>	B

		<ul style="list-style-type: none"> ・【小学生書道（A）（B）（C）・絵画 そろばん教室・楽しくクッキング】6学級 ・生活学校 7回 ・婦人会同和教育推進 22講座 ・消費者友の会 12回 ・古紙回収活動 6回 	
施策の総合推進	各地区婦人会補助金	<p>●女性の社会参加が促され、社会教育団体として活動を行い、地域に貢献している。</p> <p>◇男女共同参画・環境・福祉問題の学習 地域の人と一緒に行事に取り組んでいる。 環境活動（資源ゴミ回収、廃油石鹸づくり） 地域文化祭、敬老会などの地域での活動</p>	B
施策の総合推進	生涯学習推進事業（嘱託職員）	<p>●市民の協働による地域づくり、地域の教育力向上</p> <p>◇生涯学習・社会教育事業推進のため地域活動指導員および社会教育指導員を配置</p> <p>①社会教育指導員 28名 生涯学習課 総務担当 2名 青少年担当 3名 推進担当 6名 コミセン 16名 生涯学習センター 1名</p> <p>②地域活動指導員 2名</p>	B

4. スポーツ・レクリエーションの推進

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	
スポーツ施設の充実	中学校ナイター施設運営事業	<p>●ナイター設備のある筑紫野中学校、筑山中学校の2校のグラウンドを夜間開放することにより、スポーツの場の提供と、生涯スポーツの振興を図る。</p> <p>◇21年度の利用者数：3,238人 (内訳) 筑紫野中：2,418人 筑山中：820人</p>	B
スポーツ施設の充実	小中学校開放体育施設運営事業	<p>●小中学校体育施設を社会体育施設として開放し、各種スポーツの場の提供と、各種スポーツ団体及びグループの交流を促し、生涯スポーツの振興を図る。</p> <p>◇小中学校16校のグラウンド、体育館、武道場の開放を行っている。各学校で学校開放運営委員会を開催し、定期利用について調整を行っている。</p>	B
スポーツ施設の充実	小学校プール市民開放事業	<p>●多くの市民がプールを利用し、市民の体力向上と水泳の振興が図られる。</p> <p>◇利用可能プール：市内全小学校 11校 利用期間：夏期休暇期間（7月18日～8月12日）、22日間 利用時間：10時～17時（12時～13時は中断） 利用者数：子ども18,247人、大人1,569人、計19,816人</p>	A

スポーツ施設の充実	農業者トレーニングセンター運営事業	<p>●スポーツの楽しさ、健康の増進等を図るため、多くの市民が利用できるよう適切な施設の提供するとともに、講習会及び教室、イベントを開催する。</p> <p>◇21年度の利用者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体利用者数：74,769人 内トレーニングルーム利用者：7,083人 	B
年齢や体力に応じたスポーツの振興	市体育協会補助金	<p>●体育協会を支援し、協会に加入する様々なスポーツ団体の活動を促進させることで、市民が年齢や体力に応じたスポーツに関わることが出来る環境づくりを推進し、スポーツの振興を図る。</p> <p>◇平成21年度加盟団体数：22団体</p> <p>平成21年度加盟人数：4,647人</p> <p>定期的に執行部会、理事会、評議委員会を開催している。</p>	A
年齢や体力に応じたスポーツの振興	生涯スポーツ振興事業	<p>●生涯スポーツとして各種のスポーツ教室等を開催し、自分にあったスポーツを日常生活の中に取り入れる環境づくりをする。</p> <p>◇平成21年度は、剣道大会(参加者470人)、ソフトテニス初心者教室(同5人)、一日テニス教室(同20人)、初心者弓道教室(14人)、サッカースクール(157人)、ソフトボール教室(114人)、宝満つばきマラソン大会(1,400人)が実施された。</p>	B
幼児・児童・生徒のスポーツ機会の充実	学校週5日制推進事業	<p>●子どもたちの居場所づくりとして、市内小学校11校のグラウンド及び体育館を毎週土曜日の午前中開放している。</p> <p>◇グラウンド、体育館の延べ開放日数：403日</p>	B
年齢や体力に応じたスポーツの振興	各校区体育振興育成補助金	<p>●各校区体育振興会を支援し、各校区の体育振興会で市民一人ひとりが、積極的に参加できるスポーツ・レクリエーションの年間事業を企画、実施し、年齢や体力に応じたスポーツの振興と校区内住民の親睦を図る。</p> <p>◇10校区の体育振興会に各60,000円を補助している。</p>	B
年齢や体力に応じたスポーツの振興	市民体育祭補助金	<p>●市民がスポーツ・レクリエーションをする機会をつくり、多くの市民が参加するような市民体育祭を開催する。</p> <p>◇・平成21年10月11日(日)に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筑紫小学校区(10月4日)、天拝小学校区(5月) ・8校区は、ウォークラリーや運動会形式で開催(阿志岐小と吉木小は、合同で開催) ・21年度の補助金：3,471千円 ・市民体育祭参加者数：14,758人 	B
年齢や体力に応じたスポーツの振興	天拝山ロードレース大会実行委員会補助金	<p>●ロードレースの開催することにより、生涯スポーツを推進し、健康の増進及び体力の向上につなげる。</p> <p>◇平成21年11月23日に実施</p> <p>参加者数 選手：797人</p> <p>スタッフ等：350人</p>	B

		計：1,147人	
年齢や体力に応じたスポーツの振興	代替市民プール 利用費補助金	<p>●民間の協力により、代替市民プールとして民間施設のプールを市民の利用に供し、利用料の一部を補助している。市民がプールを利用することにより、体力の向上と水泳の振興が図られる。</p> <p>◇通年利用者数：126人 夏休み期間利用者数：348人 計：474人</p>	B
年齢や体力に応じたスポーツの振興	各種事業・教室開催事業	<p>●市民のだれもが、いつでも、どこでも、自発的・主体的にスポーツに親しむことができる環境づくりとして開催している。</p> <p>◇〔大会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳大会：273人参加 ・駅伝大会：516人参加 ・スポレク・フェスタ：138人参加 <p>〔教室〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツセミナー：135人参加 ・福祉レクリエーション講習会195人参加 ・サマーチャレンジクラブ175人参加 ・にこにこヘルシー教室287人参加 	B
指導者・ボランティアの育成	体育指導委員運営事業	<p>●体育指導委員の能力を向上させ、地域住民に対してスポーツに関する指導・助言やスポーツに関する事業の支援を行うことにより、スポーツの振興を図る。</p> <p>◇各校区体育振興会等から推薦された25人と学識経験者2人の計27人を体育指導委員として委嘱する。</p> <p>委員長・部長会及び体育指導委員会を毎月それぞれ1回開催し、各地区の連絡調整や体育指導委員の研修、市や団体の行事運営等への協力を行う。また、地域活動への実技指導等も実施する。</p>	B
施策の総合推進	全国大会出場補助金	<p>●全国大会に出場する個人、団体に対して、筑紫野市における社会体育に寄与し、今後の貢献に期待できるものとして支援する。個人に20,000円、団体に200,000円補助する。</p> <p>◇全国大会等出場者への支援</p> <p>21年度の補助金交付者 個人31人 団体3団体</p>	B

認めあい、共に生きる人権尊重社会の醸成

5. 人権意識の向上

基本事業	事務事業	● 事業の意図	評価
		◇ 活動状況等	

市民・企業へ の人権意識の 啓発	人権問題啓発実 行委員会運営事 業	●すべての市民に人権意識の大切さを理解してもらう。	B
		◇82行政区58会場にて市民懇談会が開催された。機関団体研修については、19団体実施、1団体が未実施。	
市民・企業へ の人権意識の 啓発	人権・同和問題啓 発冊子の編集・発 行事業	●人権問題に対する正しい認識と人権感覚豊かな市民の育成によって、人権が侵害されない市民生活ができるようになっている。	B
		◇・解放への一歩第34集 10月15日発刊 ・広報「人権問題特集号」12月1日発刊 市内全世帯配布 ●発刊部数 各38,700部 ・人権作文集「くさび」3月1日発刊 児童・生徒を介してPTA及び公共施設を通して配布 ●発行部数 11,000部	
市民・企業へ の人権意識の 啓発	行政区人権問題 推進委員会育成 助成金	●市民の共同生活の場である行政区ごとに組織的な人権問題啓発活動の推進と学習活動を展開することによって、人権問題の早期解決を目指し、市民一人ひとりが人権意識の高揚に努め、人権を守り、差別をしない、させない、豊かな地域社会を実現する。	B
		◇82行政区すべてにおいて行政区人権問題啓発推進委員会が組織され、58箇所ですべてにおいて行政区人権問題啓発推進委員会が行われた。小学校区ごとの推進員研修会は、11校区すべて実施。	
同和問題の解 決	学習指導支援事 業	●同和地区の児童生徒をはじめ、学習支援を要する児童生徒の学力が向上させる。	B
		◇学校教育指導主事の研修教材購入	
同和問題の解 決	同和問題啓発強 調月間事業	●同和問題の解決を、市民が自らの課題として捉え、差別を許さない意識の徹底を図るため各種の啓発事業を集中的に実施し、差別を許さない社会づくりの構築に向けて取り組みを展開する。	B
		◇7月同和問題講演会（参加者 752名） ・身体表現（二日市・京町保育所園児） ・講演「津軽三味線が奏でる命の響き」 講師 高橋 祐次郎さん ●街頭駅頭啓発 ●各課職員研修会 その他の事業を事業計画に基づき実施。	
同和問題の解 決	筑紫野市同和教 育研究会運営費 補助金	●筑紫野市同和教育研究会の運営を助成し、部落差別をはじめとするあらゆる差別からの解放を目指す人権・同和教育を実践している。	A
		◇年間事業計画に基づき、研究大会、学習会、講演会等を開催	
施策の総合推	同和教育推進5中	●5中学校区の児童・生徒の人権尊重意識が高まり、一人ひとり	

進	学校区事業補助金	を大切にすること、人権・同和教育が推進されている。	B															
		◇・5中学校区に推進委員会設置 ・ブロック研修会ならびに公開授業研を実施																
施策の総合推進	指導者養成講座	●女性問題講座の学習活動を通して「部落差別をはじめとする様々な差別の存在に気づき、地域での実践活動を通して人権思想を暮らしの中に生かし、一人ひとりの豊かな生活や幸せな未来を築くため」地域社会において核となり得る指導者を育成する。	B															
		◇6月から2月まで、「教育問題」「人権問題」「女性史」「部落問題」「平和問題」をテーマとして講座を開催した。1月は雪のため中止。																
施策の総合推進	筑紫地区社会教育振興協議会運営事業	●筑紫地区における社会人権・同和教育の現状や課題、取り組み等の情報交換を行うとともに、同和教育をはじめとする人権問題の学習、研修機会の提供を図り、社会人権・同和教育の振興と発展を期することを目的とする。	B															
		◇・担当者研修会 ・啓発情報交換会 ・県社会人権同和教育担当者協議会研修会 ・筑紫地区社会教育関係職員同和教育問題研修会 ・県社会同和教育担当者合宿研修会（10/1～2）を筑紫野市にて実施。美咲・岡田フィールドワーク。 等の企画運営を実施した。 ・筑紫地区社会教育関係職員同和教育問題研修会（1月22日、26日）研修テーマ／「同和教育フィールドワークに学んで～差別の現実から発信～」 のべ参加者数／181名 （担当者が学習内容を企画し、ファシリテーターを行った。）																
同和教育問題の解決	識字学級	●同和教育地区の住民が文字を学び、自己実現のための様々な学習により差別に負けない力が培われている。	B															
		◇文字学習を中心とした学習 人権問題を基本に生活文化向上の学習 人権尊重のまちづくりを推進するための学習 の柱を事業に取り組む <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>担当者</td> <td>学級生</td> </tr> <tr> <td>京町識字学級</td> <td>87人</td> <td>160人</td> </tr> <tr> <td>美咲大学</td> <td>52人</td> <td>103人</td> </tr> <tr> <td>岡田解放学級</td> <td>30人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>永岡識字学級</td> <td>36人</td> <td>67人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>205人</td> <td>344人</td> </tr> </table>			担当者	学級生	京町識字学級	87人	160人	美咲大学	52人	103人	岡田解放学級	30人	14人	永岡識字学級	36人	67人
	担当者	学級生																
京町識字学級	87人	160人																
美咲大学	52人	103人																
岡田解放学級	30人	14人																
永岡識字学級	36人	67人																
合計	205人	344人																
同和教育問題の解決	解放子ども会	●日常的な子ども会活動や社会体験等を通して、自らの社会的立場を自覚し、差別に負けない、許さない強い意志と実践力をもった子どもの育成を目的とする。																
		◇社会体験向上と生活指導学習支援活動																

		<p>(社会体験を豊かにし、自己成長と仲間づくりの学習支援活動を行う)</p> <table border="0"> <tr> <td>○関わった指導者の数</td> <td>子どもの数</td> </tr> <tr> <td>京町 27人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>美咲 31人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>岡田 17人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>永岡 17人</td> <td>7人</td> </tr> </table> <p>※指導者については、人権政策課子ども会指導員、教務課派遣職員、小・中学校教職員</p>	○関わった指導者の数	子どもの数	京町 27人	24人	美咲 31人	28人	岡田 17人	7人	永岡 17人	7人	B														
○関わった指導者の数	子どもの数																										
京町 27人	24人																										
美咲 31人	28人																										
岡田 17人	7人																										
永岡 17人	7人																										
同和問題の解決	各部運営学級育成補助金 (女性部)	<p>●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。</p> <p>◇実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動が実践されている。</p> <p>女性部 250人</p> <table border="0"> <tr> <td>①研修会</td> <td>102人</td> <td>②全体学習会</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>③健康学習会</td> <td>21人</td> <td>④福祉学習会</td> <td>102人</td> </tr> <tr> <td>⑤定例学習会</td> <td>500人</td> <td>⑥役員会</td> <td>183人</td> </tr> <tr> <td>⑦地域交流事業活動</td> <td>43人</td> <td>⑧識字学級活動</td> <td>3,053人</td> </tr> <tr> <td>⑨その他の活動</td> <td>217人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,236人</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	①研修会	102人	②全体学習会	15人	③健康学習会	21人	④福祉学習会	102人	⑤定例学習会	500人	⑥役員会	183人	⑦地域交流事業活動	43人	⑧識字学級活動	3,053人	⑨その他の活動	217人			合計	4,236人			B
①研修会	102人	②全体学習会	15人																								
③健康学習会	21人	④福祉学習会	102人																								
⑤定例学習会	500人	⑥役員会	183人																								
⑦地域交流事業活動	43人	⑧識字学級活動	3,053人																								
⑨その他の活動	217人																										
合計	4,236人																										
同和問題の解決	各部運営学級育成補助金(子ども会)	<p>●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。</p> <p>◇実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動が実践されている。</p> <p>子ども会 66人</p> <table border="0"> <tr> <td>①野外活動</td> <td>151人</td> </tr> <tr> <td>②体験学習</td> <td>179人</td> </tr> <tr> <td>③岩行進</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>④研修会</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>⑤交流活動</td> <td>53人</td> </tr> <tr> <td>⑥地域交流事業</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>⑦日常的学習・活動</td> <td>8,318人</td> </tr> </table>	①野外活動	151人	②体験学習	179人	③岩行進	22人	④研修会	32人	⑤交流活動	53人	⑥地域交流事業	45人	⑦日常的学習・活動	8,318人	B										
①野外活動	151人																										
②体験学習	179人																										
③岩行進	22人																										
④研修会	32人																										
⑤交流活動	53人																										
⑥地域交流事業	45人																										
⑦日常的学習・活動	8,318人																										
同和問題の解決	各部運営学級育成補助金(老人部)	<p>●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、地区住民の生活の向上を図る。</p> <table border="0"> <tr> <td>①定例学習会</td> <td>1,061人</td> </tr> <tr> <td>②老人識字</td> <td>484人</td> </tr> <tr> <td>③研修会</td> <td>198人</td> </tr> <tr> <td>④体験活動</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>⑤交流会</td> <td>189人</td> </tr> <tr> <td>⑥各種教室</td> <td>401人</td> </tr> <tr> <td>⑦地域活動</td> <td>35人</td> </tr> </table>	①定例学習会	1,061人	②老人識字	484人	③研修会	198人	④体験活動	14人	⑤交流会	189人	⑥各種教室	401人	⑦地域活動	35人	B										
①定例学習会	1,061人																										
②老人識字	484人																										
③研修会	198人																										
④体験活動	14人																										
⑤交流会	189人																										
⑥各種教室	401人																										
⑦地域活動	35人																										
同和問題の解決	各部運営学級育	●同和地区住民の自立に向けた教育活動を支援することにより、																									

決	成補助金（成年）	<p>地区住民の生活の向上を図る。</p> <p>◇実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動が実践されている。</p> <p>成人男子 203人</p> <p>①研修会 168人 ②全体学習会 541人</p> <p>③定例学習会 1,308人 ④各種学習会 13人</p> <p>⑤交流会 160人 ⑥地域活動 1,932人</p> <p>⑥その他の活動 213人 合計 4,335人</p>	B
同和問題の解決	各部運営学級育成補助金（青年部）	<p>●同和地区住民の組織的な教育活動に対し、事業補助することで、社会的課題としての同和問題の解決に寄与することを目的</p> <p>◇実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動が実践されている。 青年部 202人</p> <p>①研修会 9人 ②学習会 24人</p> <p>③役員会 54人 合計 87人</p>	B
同和問題の解決	各部運営学級育成補助金（子ども会育成会）	<p>●同和地区住民の組織的な教育活動に対し、事業補助することで、社会的課題としての同和問題の解決に寄与することを目的</p> <p>◇実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動が実践されている。</p> <p>実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動が実践されている。</p> <p>子ども会育成会 55人</p> <p>①定例学習会 680人 ②研修会 49人</p> <p>③学習会 99人 ④交流会 47人</p> <p>⑤館外活動 4人 ⑥地域活動 109人</p> <p>⑦各種教室 47人 ⑧その他の活動 113人</p> <p>合計 1,148人</p>	B
同和問題の解決	各部運営学級育成補助金（各種学級）	<p>●同和地区住民の組織的な教育活動に対し、事業補助することで、社会的課題としての同和問題の解決に寄与することを目的</p> <p>◇実態的差別の克服をめざして、地域の教育力を高める活動が実践されている。</p> <p>各種学級生 685人</p> <p>①英会話教室 140人 ②音楽教室 704人</p> <p>③健康料理教室 1,425人 ④民舞教室 325人</p> <p>⑤健康体操教室 361人 ⑥カラオケ教室 461人</p> <p>⑦アートフラワー 372人 ⑧手芸教室 310人</p> <p>⑨生け花教室 61人 ⑩盆栽教室 124人</p> <p>合計 4,283人</p>	B